

赤十字新聞

The Red Cross Journal Japanese Red Cross Society publication

■編集・発行／日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL.03-3438-1311
一部20円 赤十字新聞の購読料は、社費に含まれています。

11

Nov 2010

Vol.846 <http://www.jrc.or.jp>日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

完成披露試写会にて。左から菅原美保さん、南沢奈央さん、池田愛さん

支え合ういのちの輝きをうつたう

初の映画化「八月の二重奏」

日本赤十字社が初めて製作した献血推進広報映画「八月の二重奏」がこのほど完成。10月3日に都内で完成披露試写会が開かれ、主演女優の南沢奈央さんや田口仁監督、原案のイーハートブ学生奉仕団委員長菅原美保さんが舞台あいさつを行いました。

映画は、妹の菅原美幸さんを急性白血病で亡くした美保さんの体験に基づくストーリーです。姉妹のこころのつながりを軸に、生きるこの意味や支え合うことの大切さを伝えます。

身近に感じて欲しい献血

舞台あいさつで田口監督は「美保さんや両親をはじめ、主治医、院内学級の先生などへの取材を通じて、一人ひとりの人生にドラマがあることを改めて知りました。取材で拾ったエピソードを編み上げたのが『八月の二重奏』です」と実話の持つ重みを強調しました。

美保さんを演じた主演の南沢さんは「映画を通じて、献血を身近に感じてもらう、その大切さを同世代の友達や家族に広げて欲しい」とアピール。美幸さんを演じた中学

2年生の池田愛さんは「いのちの大切さが学べました。まだ献血はできないけど、大人になったら協力します」と語りました。

献血ボランティアとして活躍

— 菅原美保さん

菅原美保さんは現在、大学の看護学部在学中。イーハートブ学生奉仕団の委員長として、献血ボランティア活動も行っています。入学時に4人だったメンバーは、奉仕団へと発展した2年目のいま37人に増えたそうです。

試写会後の記者会見では、「映画を通じて、『必要じゃない人なんていない、人間はみんな支え合って生きている』というメッセージが伝わるといいです。私も奉仕団活動を頑張りたい、いのちの大切さや一人ひとりが大切な存在であることを訴えていきます」と決意を表明。将来は患者さんの気持ちに寄り添える看護師になりたいと思いつつ、「と力強く抱負を語りました。」

全国のレンタルショップで無料貸出し

「八月の二重奏」は、全国の献血ルームや公共施設で順次公開中です。

また、TSUTAYAなど全国のレンタルビデオ店では12月中旬から無料レンタルを行う予定になっています。

上映については、最寄の各都道府県赤十字血液センターまでお問い合わせください。(2面、7面に関連記事)



奄美大島で大雨災害

医療救護班2班を派遣

鹿児島県奄美大島で10月20日に発生した大雨災害に対し、日本赤十字社鹿児島県支部は、部は医師・看護師・事務職員で構成する2班の救護班を派遣。毛布や緊急セットなど多数の救援物資の配付も行いました。

民間フェリーで入った第1救護班は直ちに避難所での診療を開始。被害が大きかった住用地区での巡回診療を行いました。

第2救護班は、自衛隊ヘリを使って孤立地域での巡回診療を実施

アフリカのママと子どもたち
RED CROSS SYMPOSIUM 2010

【日時】平成22年11月23日(火・祝) 14:30~16:30
【会場】表参道ヒルズ本館地下3階 スペース オー(東京都渋谷区)

日本赤十字社は、今年で24回を迎える「赤十字シンポジウム2010」を開催します。日赤とNHKが共同で年末に取り組む「海外たすけあい」キャンペーンの一環で、今年のテーマは「アフリカのママと子どもたち」。

経済発展が著しいアフリカ諸国ですが、政情不安や自然災害、劣悪な衛生環境などにいまなお多くの国や地域が直面。社会的弱者の女性や子どもたちが深刻な人道的危機に晒されています。シンポジウムでは、支援を必要とする人々への認識を深め、支援のあり方を考えていきます。

- ◆パネリスト
勝俣 誠(明治学院大学国際学部教授)・森 泉(モデル/タレント)・サカキ マンゴー(ミュージシャン)
- ◆コーディネーター
日比野 克彦(アーティスト)
- ◆現地報告
五十嵐 真希(日本赤十字社ケニア駐在員)

★申し込み方法
日本赤十字社ホームページ(<http://www.jrc.or.jp>)から。
締切りは11月10日(水)

★シンポジウムは、NHK教育テレビ「TVシンポジウム」12月4日(土)16時~17時 放送予定

施設。地元の日赤奉仕団も非常炊き出しを行いました。市の災害対策本部からは「医療ニーズが把握できないなか、救護班が来てくれて心強かったです。」などの声が寄せられています。

鹿児島県支部では、奄美地方大雨災害への義援金を受け付けています。

名称 11月20日の奄美地方大雨災害義援金

受付期間 平成22年11月30日(火)まで

受付口座 鹿児島銀行鴨池支店 普通口座 6641555

口座名義 日本赤十字社鹿児島県支部 支部長 伊藤祐一郎

受領書発行を希望される場合、鹿児島県支部(099-252-0600)へご連絡

ください。

日本手拭い、 600本を御下賜

名誉総裁
皇后陛下



土肥博雄院長(右)から手拭いを受けとる丹波さん(中央)



御下賜された日本手拭い

日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下から10月6日、青い麦穂模様があしらわれた日本手拭い600本が日本赤十字社に御下賜されました。

御下賜は、10月20日の皇后陛下誕生日を記念して毎年行われているもの。日赤は誕生

日にあわせて御下賜物を老人保健施設などの入居者に配付しています。

今年は、伊豆(静岡県)、多可(兵庫県)、岡山(岡山県)、小野田(山口県)の各赤十字老人保健施設と広島赤十字・原爆病院(広島県)に

配られました。

広島赤十字・原爆病院に入居している丹羽功さん(72歳)は、「まっすぐ伸びている麦穂に元気をもらいました」と皇后陛下からのお見舞いに感謝と喜びを表していました。



ある日、小学生の美幸に「急性白血病」の診断が下されました。骨髄移植を目指しつつ、抗がん剤治療を行いますが、副作用で体調が悪化。苦しい闘病生活が続きます。

「自分に何かできることは」

多くの人の善意の結晶である献血が、それを必要としている人のいのちを輝かせている――闘病生活をおくる妹と、彼女を見守り続けた姉とのきずなを中心に、支え合うことの大切さを描きます。

ストーリー紹介 八月の二重奏

と悩んだ姉の美保は、妹のバイオリンと自分のピアノで合奏できる二重奏を作曲。「退院したら一緒に発表会で演奏しよう」と妹に届けます。

副作用による体調悪化がおさまり、血液型が一致した美保からの骨髄移植を受けて、美幸は退院します。しかし、白血病が再発してしまい…。

- ▽出演
南沢奈央 「君にラヴソングを」(2010年)ほか出演作多数
- 池田 愛 新人(中2)
- 中山 峻 代表作に「復讐の天使」カミカゼ・タクシ(1994年)ほか
- 街田しおん 映画、ドラマ、CM、舞台など多方面で活躍中
- 小林綾子 NHKの連続テレビ小説「おしん」(1983年)で国民的スターに
- 石橋蓮司 幅広い役柄をこなすバイプレイヤー。1991年、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞受賞
- ▽原案
菅原美保 イーハトーブ学生赤十字奉仕団委員長
- ▽音楽
大島ミチル 映画音楽、CM音楽、TV番組音楽など多方面で活躍。日本アカデミー優秀音楽賞を6度受賞
- ▽監督・脚本
田口 仁 主な作品に「もうひとつの日本を」「いまそこにあるユニオン」
- ▽製作・著作 日本赤十字社
- ▽特別協力 全国学生献血推進実行委員会
- ▽企画協力 東映CM
- ▽製作プロダクション 東映東京撮影所

Our world. Your move.

赤十字150年



個人の尊重と 赤十字運動(7)

元IFRC財政委員
野々山 忠致



赤十字運動の基礎となった1864年の「赤十字条約」は、ジュネーブの一市民、アンリ・デュナンが、ボランティアとして傷ついた兵士の救援活動をした経験から、傷病兵を敵味方の別なく救護するための条約を提案し、それに賛同したジュネーブをはじめヨーロッパ各地の市民団体が、今で言えばNGOの人たちが、

「人間が人間として 尊重される社会」の実現

し軽減する活動を通じて、人間らしく生きることのできない人々の苦しみを実感した人たちが、「人間が人間として尊重される社会」を一步でも前進させようと、国や国際社会に対して、政策を提言し、法律や条約を提案して、その実現に努

市民の人たちが、実際の支援活動の経験を踏まえて、武力紛争で一般市民や傷病兵、捕虜が犠牲とならないように国や国連に働きかけて成立させたものです。

かつて国連の会議に行く人たちが話にやってくるま

た。はじめはどうして政府の会議に民間の人が現れるのか不審に思いましたが、やがて会議を開催して問題の解決を求めているのは実はこの人たちのなだということが分かってきました。

1990年代には、対人地雷で足を失った犠牲者に対する義足の提供や地雷除去の活動をした人たちが、地雷の禁止を提唱し、これに反対する軍や政府の関係者を訪問して、対人地雷が無差別に住民を殺傷する非人道的な兵器だということ

を、現場での体験や資料、映像を示して説明し、説得に努めました。その熱意と行動力が、各国の軍や政府を動かし、多くの国が対人地雷の禁止に同意して条約が成立したのです。条約はその前文で、人道の諸原則を推進するために国際赤十字・赤新月運動やNGOが行っている努力を高く評価しています。

この事実、赤十字や市民の人たちの「個人の尊重」の理念と人道の原則に基づく活動が、「人間が人間として尊重される社会」の実現に向けて、人々を動かし、国を動かし、国際社会を動かす原動力になっていることを私たちに示しています。赤十字の皆さんの活動は、こうした人道の実現に向けた大きな力とつながっているのです。そのことに自覚と誇りを持って赤十字運動を進めて頂ければと思います。

次回は、個人の尊重と共同体としての調和をめぐる問題を取り上げ、連載を終えたいと思います。

いのちを救う技術 高めよう

救急法競技会開催

神奈川県



競技は時間との戦い。緊張感のなかでの体験がいざというときに生かされます

楽しく競っていのちを救う技術を高めよう――神奈川県支部主催の第14回赤十字救急法競技会が10月23日、横浜文化体育館で開かれ、県内の奉仕団や企業、青少年赤十字(JRC)加盟校などから

113チーム・組、800人が参加。三角巾リレーや救命・応急手当など4種目で練習の成果を競い合いました。

奉仕団活性化に大きな力

競技会は、救急法の知識・技術の向上を図り、参加者の交流を深めていくのが目的です。大会実行委員で副審判を務める県安全赤十字奉仕団委員長の青山實さんは「競技会を目指した講習会も開かれるなど奉仕団活動の活性化につながっています。小中高生の参加も増え、赤十字を支える人材育成のきっかけにもなっています」と開催の意義を強調します。

参加チーム中、平均年齢が一番高かった海老名市赤十字奉仕団チームの萩原梅子さん(67歳)は「日ごろは、市や学校の行事で心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使用方法などを指導しています。競技会出場は5回目。年齢を忘れて楽しんでいま

今年度、救急法競技会は埼玉県、大分県でも開催されます。開催日程は以下の通り。

- ・平成23年1月10日 久喜市総合体育館
- ・平成23年2月11日 大分東明高等学校

「スマトラ島沖地震・津波災害 復興支援」から見えてきたもの

有識者座談会で意見交換

死者・行方不明者22万人の被害をもたらしたスマトラ島沖地震・津波災害（2004年12月）で、日本赤十字社は中長期にわたる復興支援を行ってきました。事業終了を迎えるにあたり、大規模な復興支援で得られた教訓や課題について有識者から意見を聞く座談会が10月12日に日本赤十字社で行われました。

支援の調整の重要性

莫大な寄付金を背景に、政府機関やNGOなど世界からの救援が殺到し、救援から復興、そして開発へと切れ目なく支援が継続していったのが今回の災害の特徴でした。財団法人日本国際協力システムの長谷川庄司・業務第一部次長は「切れ目のない支援には、とりわけ復興段階で支援する側を調整する仕組みが求められるが、スマトラではそうした機能がなかった。また、支援を受ける側の調整機

関も設立されるのが遅かった」と指摘。被災地へのインフラ整備が過剰だった点についても言及し、「地元で継続的に運用できる範囲を超えた支援が行われたのではないかと疑問を投げかけました。日赤は住宅再建や保健衛生に取り組みましたが、日赤駐インドネシア代表部の大岩豊・前首席代表は「大規模な復興支援のなかで被災者ニーズが時間の経過とともにどんどん変化していき、自分たちの地道な取り組みの意味を見出すのが難しかった」と報告しました。

していく重要性を改めて強調しました。

人間関係の構築こそ

効果的な支援の実施には「被災地の文化・慣習の理解が重要」と提起したのは、大阪大学大学院の中村安秀教授です。「支援体制を組む上では、被災地に詳しい専門家の言語が分かる人との協力が重要。日赤もNGOや大学とのコラボレーションを」と期待を述べました。

支援の「公平性」とは？

支援の目標として「Build Back Better」（被災前よりもよい社会に）という考え方が

近衛忠輝社長は「復興への大きな方向性が示されないまま、各支援団体が目の前の被災者ニーズにそれぞれ手を出せば収拾がつかなくなる」と述べ、支援全体を調整

漁村の仮設住宅は不便な所に作られてむしろ以前より状況が悪化したところもあった。元々の格差が支援でさらに広がってしまったケースもある」と今回の支援の問題点を提起しました。

近衛社長は「直接被災した場所のほうが被災しなかった場所よりも良くなってしまうことはあらゆる場所で見られる。『公平の座標軸』をどこに置くべきかは悩ましい問題」としたうえで、「例えばインドのように支援を受け入れなかった国もあるが、少なくとも人道憲章でうたわれる支援をする権利・受ける権利を改めて説いていくことが必要」と決意を述べました。

広がった防災意識

今回の支援が被災地にもたらしたものは何か。国土交通省国土計画局広域地方計画課長の西川智さんは「津波警報で住民が避難できていたのは多くのいのちが助かったことが国際メディアを通じて周知された。その結果、津波の早期警戒システムの重要性が認識されるなど、各国政府で防災の優先度が上がった」ことを成果として挙げました。

インドネシアでは津波後、国家防災庁の創設や防災法の制定などが進められています。「政府組織として防災訓練も始められるなど、システムとして動き出した」と西川さんは評価しました。大岩さんは、日赤が再建した住宅が住民から支持されていること、さらにこうした支援を通じて被災地の人々との人間関係が構築できたことを

常任理事会開催報告

平成22年10月25日、本社において平成22年度第6回の常任理事会が開催されました。審議結果は左記のとおりです。

付議事項

- 1 支部の不動産の処分について
(救護倉庫新築に伴う宮城県支部の不動産の処分及び社屋移転新築に伴う埼玉県支部の不動産の処分)
- 2 医療施設耐震化臨時特例交付金にかかる資金の借入及び不動産の処分について
(浦河、静岡、長浜、庄原赤十字病院)
- 3 医療機器整備にかかる静岡赤十字病院の資金の借入について
(岡崎、静岡、長浜、庄原赤十字病院)
- 4 病院建物建設資金の繰上償還に伴う福井赤十字病院の資金の借入及び予算の補正について

ついて

審議の結果、宮城県支部の不動産の処分、医療施設耐震化臨時特例交付金にかかる浦河赤十字病院の資金の借入、長浜及び庄原赤十字病院の不動産の処分、医療機器整備にかかる静岡赤十字病院の資金の借入、病院建物建設資金の繰上償還に伴う福井赤十字病院の資金の借入及び予算の補正については、原案のとおり議決されました。

また、埼玉県支部、浦河及び静岡赤十字病院における不動産の処分、静岡、長浜及び庄原赤十字病院における資金の借入については、原案のとおり理事会に付議することについて了承されました。また、益田赤十字病院の新病院建設計画、青年赤十字奉仕団の活動、予算の補正にかかる9月分の社長専決事項の決定状況について報告しました。

春夏秋冬

赤十字病院物語



第1回 多可赤十字病院(兵庫県)

こんにちは 多可赤十字病院です。私たちの病院は、昭和20年に発足。当時の町名から「中町赤十字病院」と名付けられました。平成17年には郡内3町（中町、加美町、八千代町）が合併し、町名は「多可町」となりましたが、「中町日赤」は地元に残り、親しまれてきた名称だという理由から病院名はそのままで通してきました。

でも、新しい町が誕生して5年の歳月が経ち、「多可」という町名も住民に定着してきました。あらためて地元の医療機関として多くの皆さんに認識してもらうため、10月1日をもって新町名を冠した「多可赤十字病院」と名称を変更しました。

10月24日には地域の皆さんへの新病院名披露をかねて「第1回病院フェスティバル」を開催しました。テーマは『地域の皆様の信頼のもと「日赤」は今日生まれ変わります』。名前を変えただけでなく、今まで以上に地域の暮らしに密着したぬくもりのある医療を心がけようという職員全員の熱い思いをあらわしたものです。

フェスティバルでは、院内各部門の手作りイベントをはじめ、地元中学校ブラスバンド部による演奏、赤十字救護活動のPRや地元のうまいものコーナーなどを企画。地域の皆さんに、普段とは違う視点で施設を見学していただきました。フェスティバルの準備

から当日までを通じて、病院内各部門がクロス（連携）し、病院と地域が「もっとクロス」できたと思います。

多可赤十字病院は、全国で最初に介護老人保健施設を併設した病院でもあります。訪問看護ステーション、訪問リハ、居宅介護支援事業所などもあり、病院機能と介護を有機的に関連させ、一体的に運営しています。

これからも院内連携と地域連携をよりいっそう推進し、健診、急性期医療から在宅介護に至るまで地域の高齢者に対する切れ目のないニーズに答えていきます。

(地域医療連携課長 佐藤博美)



多可赤十字病院

兵庫県多可郡多可町中区岸上 280
☎ 0795-32-1223

診療科目

内科／外科／整形外科／産婦人科
小児科／眼科／放射線科
リハビリテーション科

予約受付中!

2011年版 赤十字カレンダー&赤十字手帳

赤十字カレンダー(限定3,500部)

赤十字の支援で元気を取り戻した、世界中のこどもたちの「笑顔」。その「笑顔」をテーマに12カ月色とりどりに展開する楽しいカレンダーです。

- 1部900円(消費税込・送料別)
- ◆ヘッダー綴じ壁掛けカレンダー
 - ◆約45cm×30cm 13枚綴り
 - ◆付録: イベントシール・スクリーンセーバー (CD-ROM)



赤十字手帳(限定31,000冊)

赤十字情報の掲載されたコンパクトでスリムな赤十字手帳。アンケートをもとに、さらに使いやすいバージョンアップ!

1冊300円(消費税込・送料別)

- ◆赤白リバーシブルカバー
- ◆別冊赤十字便覧 (New)
- ◆約15cm×9cm
- ◆カラー地下鉄路線図 (New)



お申込方法

以下のいずれかの手段(1)でご希望商品のお申込内容(2)についてお知らせください。

(1) お申込手段

FAX 03-3459-1432
ホームページ www.nisseki-service.com
メール info@nisseki-service.com
電話 03-3437-7516
ご来店 日本赤十字社本社1階
お葉書 〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-3

(2) お申込内容

ご希望の商品名・数量
お名前(ふりがな)・お電話番号
ご送付先住所(郵便番号含む)

詳細は毎日赤十字サービスホームページにて

www.nisseki-service.com

The logo features a blue circle with the word "Sports" in white, followed by the Japanese text "スポーツとコラボ" in a stylized, colorful font.

ロツテ選手のユニ
フォーム↓チャリ
ティーグッズに変身

プロ野球・パ・リーグの千葉ロッテマリーンズの選手が、試合で着用したユニフォームをチャリティーグッズにリフームする協働事業に千葉県支部では取り組んでいます。

この事業は、選手のユニフォームの有効活用法を考えて

いた同球団からの提案を受けてスタートしたもの。9月16日には、10人の千葉市赤十字奉仕団裁縫奉仕グループメンバーがリフォーム作業に取り組みました。

同奉仕団メンバーのアイデアと技によって、選手のユニフォームは、選手名や背番号、

完成したグッズは、球団が主催するイベント会場などでファンに販売され、売り上げは赤字へのチャリティーとして寄付される予定です。



ロッテファンの垂涎^{すいせん}は必至



「これからも献血推進に協力していきます」と原口さん

ダブル記念で 江ノ電と
コラボ献血PR

神奈川

湘南にある献血ルーム、クロスウェーブ湘南藤沢献血ルームが9月2日で移転1周年を迎えました。

これを記念して同献血ルームでは9月の1カ月間、今年で全線開通100周年を迎えた江ノ島電鉄(株)の全面協力のもと、献血推進のキャンペーンを開催しました。

期間中、江ノ電の全15駅にキャンペーンポスターが無償で張り出され、窓口には「けんけつちゃん」人形

も展示。電車やバスにも献血をPRする中吊り広告が無償提供されました。

大仏や長谷寺などの人気スポットを抱える長谷駅では駅員の原口夏実さん（写真）が、献血の種類や基準について記した手書きポスターを制作して掲示。

原口さんは「乗客の皆さまに献血をより知っていただく」と思い、私自身も献血について調べながら作成しました」と語ってくれました。

「人権と人道」
テーマにフォー
ラム開催

秋 田

秋 田

秋田赤十字看護大学・秋田赤十字短期大学は10月2日、「21世紀の人権と人道」をテーマ



ームに国際人道法教育フォーラム2010を開催しました。

フォーラムでは、関西大学名誉教授の藤田久一氏が「人権と人道の概念の誕生経緯は異なるが、両者は補完的な関係にある」と法的概念を解説。

地域における人権、人道思想の啓発に貢献したフォーラム

赤十字国際委員会（ICRC）駐日事務所所長の長嶺義宣氏はICRCの活動を説明した上で、「大切なのはルールではなく、人道の精神を実践すること」と強調しました。

ヒューマン・ライツ・ウォッチ、東京ディレクターの土井香苗氏は、難民の過酷な状況や紛争下の女性に対する

仲間同士で学んだ
HIV/エイズ予防

德島

徳島県青年赤十字奉仕団は、県の日ⅤⅤ／エイズ予防啓発活動の第一歩として、9月23日「ピア・エデュケーション基礎研修会」を実施。社会人や学生を合わせて19人の団員が参加しました。

同年代の仲間同士で教え合い学んでいくのが「ピア・エデュケーション」。これを効

をはじめとする性感染症の基礎知識についての講義を行った後、ピア・エデュケーション方式を取り入れての学習会を行いました。

今後も支部では社会人団員と学生団員が共同で日ⅤⅤ／エイズ予防啓発をテーマとしたピア・エデュケーションの普及に取り組んでいきます。

性的暴力などの問題をビデオで紹介し、「情報の力で世界を変えることができる」と訴えました。

台風9号大雨災害
ボランティア
32人が活動
静岡

静岡

台風9号大雨災害
ボランティア
32人が活動

岡 静

9月9日に上陸した台風9号により、静岡県駿東郡小山町では1時間に120ミリを超える豪雨を記録。川がはんらんし、橋げたが流されたほか、住家浸水、家屋損壊などの被害が発生しました。

こうした被害の復旧に向け、県内からは10日間で延べ32人のボランティアが復旧活動に参加しました。

現地に「災害ボランティア本部」(小山町社会福祉協議会)が開設されたのは大雨翌日の10日。家屋の土砂撤去や荷物整理の作業を行うボランティア活動が開始されました。

静岡県支部では安全奉仕団

と看護奉仕団を派遣し、ボランティアに対する衛生管理活動を展開。防災ボランティアリーダーが住民ニーズの収集を行い、災害ボランティア本部の運営にも従事しました。

学生とコラボで
赤十字PRの
ユニークデザイン

静岡

デザインを通じて若者に赤十字について考えてもらうことを目的に、静岡県支部は「赤

日から11月4日と12月17日か
ら1月16日の2回が予定され
ています。



応急キット、飲料水などを持って現場を巡回する赤十字ボランティア

作を静岡アサヒ専門学校に依頼しました。県支部として初の試みです。

制作は授業の一環として扱われ、8月31日に行われた学生によるプレゼンテーションには21作品が出品。5作品が日赤の広告として選ばれました。

市内に設置さ



端末は市内に8台。県民が赤十字を知
るきっかけにと期待されています



楽しい雰囲気作りに努めたため、「性」についてもリラックスして話せました

心からの寄付に感謝

国連婦人会から
1000万円国連婦人会の三木睦子会長
から9月24日、赤十字活動資
金として1000万円が日本夫である三木武夫元内閣総理大臣の
記念館で目録を手渡す睦子会長

赤十字社に贈られました。

寄付金は、50年にわたった
同会の活動が終了することを
機に、この間集めた会費から
捻出されたものです。若いころはよく献血をされ
たという三木会長。「年齢制
限がなければもっと続けたか
った」と話されました。日本野球機構
選手とファンの
思いを日赤へ日本野球機構からこのほ
ど、1456万7551円が
災害救護活動への支援金とし
て日本赤十字社に寄せられま
した。寄付金は「マツダオールス
ターゲーム2010」と「セ
リーグ オールド・ユニホー
ム・シリーズ」のチャリティオークション
の売上金やワー
ルド・ベースボ
ールクラシック
2連覇に対する
マスコミ各社か
らの表彰金など
によるもので、
ハイチやチリな
ど大規模な地震
で被災した方へ
の救援金にも充
てられます。

その他、宮崎

県へ口蹄疫被害の義援金とし
ても寄付されました。

洪水からの復興願ひ

大阪ガス労組が
大 阪
救援金大阪ガス労働組合から9月
27日、パキスタン洪水災害の日赤大塚副社長に目録を渡す
加藤良三コミッショナー (右)救援金として、大阪府支部に
30万円が寄せられました。組合の基金の一部を捻出し
たもので、同労組は「二日も
早い復興をお祈りしておりま
す」と話されました。クローズアップ
ひと「献血が当たり前のことにな
ってほしい」——はつらつとし
た笑顔で語るのはドラマやバラ
エティーなど多方面で活躍中の
女優、南沢奈央さん。今回、日
本赤十字社にとって初となる献
血推進のための映画「八月の二
重奏」で主役の菅原美保役を演
じました。南沢さんが初めて献血とのか
わりを持ったのは高校1年生
のとき。学校に献血車が来たの
がきっかけでした。女 優
南沢奈央さん
(20歳)「参加しなかったのですが、
できなくて、それが悔しくて母
親と一緒に池袋の献血ルームに
行くことになったんです」実は、不安も大きかったとい
います。「献血ルーム自体行きづらい
イメージがあったし、なにより映画は、白血病に冒され闘病
生活を送る妹・美幸さんとそれ
を懸命に支える美保さんとの姉
妹のきずなを描いた物語です。
「作品を通じて、献血で提供
された血がさまざまな検査によ
って安全性が確かめられたう
えで届けられること、輸血によ
って助かる多くのいのちがあるこ
とを知り、献血に対する考えが
変わりました」

献血のイメージが変わりました！

映画は支え合いの大切さも投
げかけています。
「完成した映画を家で見てい
たら、いつの間にか弟も隣で泣
きながら見ていました。弟のそ
んな姿は初めてだったので理由
を聞いたら、『もし自分が病気
になったら、お姉ちゃんはこの
まで看病してくれる？』と言わ
れ、深く考えさせられました」
映画を通じて献血のイメージ
を変えたいという南沢さん。実
はイメージを変えたいのは献血
に限ったことではないようで、
「私自身これまで純真・ピュ
アな性格の役柄を演じることが多
かったのですが、十分な演技力
をつけて今後は悪役にも挑戦し
たいです」と女優としての目標
を掲げました。

Voice&プレゼント

◆子育てサポートに感謝

——堀之内 貴美子 (札幌市)

子育てサポートの託児でお世話になったので
すが、子供も楽しかったようでした。また機
会があれば参加したいです。

◆応援します！看護学校の男子学生

——山川 浩一 (岡山市)

日赤看護学校は女子学生さんばかりが在籍し
ているものと錯覚していましたが、赤十字新
聞10月号を読んで男子学生さんもいると知り
頼もしく思いました。応援しています。頑張
ってください。

プレゼント応募方法

「赤十字新聞」や赤十字活動
へのご意見や感想などを下記
までお寄せください。毎月抽
選で素敵な赤十字グッズをプ
レゼントします。☆今月号のプレゼント
主演の南沢奈央さんのサイン
入り「八月の二重奏」DVD
を5名様に。●郵送/〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3
日本赤十字社企画広報室 赤十字新聞係
●FAX/03-3437-7091
●メール/koho@jrc.or.jp
(件名「赤十字新聞11月号プレゼント応募」)
●応募締切/11月25日(木) 必着
★ご投稿の際は、お名前、連絡先(住所・電
話番号)を明記してください。匿名希望の際
はその旨もご記入ください。
当選者の発表はプレゼントの発送をもって代
えさせていただきます。日赤近衛社長から感謝状を
受け取る西山社長 (左)日に日赤近衛
社長からヤナ
セの西山俊太
郎社長に感謝
状が贈られま
した。
寄付金は同
社オリジナル
防災キットの
売り上げ金の
一部で、これまでも、15台の献血運搬車
や中国四川省大地震への救援
金など多くの寄贈をいただい
ています。長年の支援に
御礼と感謝状株式会社ヤナセから創立95
周年の記念事業の一環として
活動資金が寄せられ、10月6現在は北谷さん(左)もクラブに
加入され、活躍しています大和郡山ライオ
ンズクラブに所
属し、地域奉仕に貢
献されたご主人。
その名前にちな
んで運搬車は「三男
号」と名付けられ
ました。「感謝のしるし」良
献血運搬車寄贈 奈「生前主人が輸血でお世話
になった」として、北谷博美
さんより奈良県赤十字血液セ
ンターに献血運搬
車が寄贈されまし
た。訂正とお詫び
10月号2面左下「ボイ
ント募金だいたい受付
中！」の記事に誤りがあ
りました。
●利用額に応じて自動寄
付のうれしいカードも
(誤) カード利用の総額
に対して一定割合を課し
た金額をカード会社が日
赤へ寄付するカードです。(正) カード利用の総額
に対して一定割合を課し
た金額を本田技研工業株
式会社が日赤へ寄付する
カードです。この度は、本田技研工
業株式会社様及び関係者
の皆さまには大変ご迷惑
をおかけいたしました
事、心よりお詫び申し上
げます。

11月の行事予定

開催日	行事名	開催場所	問い合わせ先・備考
11月21日(日)まで (開催中)	企画展「幕末期日本海軍の黎明 ～佐野常民と勝海舟～」	佐野常民記念館(佐賀市)	佐野常民記念館 ☎0952-34-9455
11月13日(土)	ライトセンターフェスティバル	神奈川県ライトセンター(横浜市)	神奈川県ライトセンター ☎045-364-0023
11月23日(火・祝)	赤十字シンポジウム2010 ～アフリカトーク～	表参道ヒルズ(東京都)	申し込み方法 日赤ホームページ(http://www.jrc.or.jp)から 11月10日(水)締切り

パキスタン

建国以来最悪の洪水被害

近衛IFRC会長 被災地訪問し長期支援訴え

大洪水によって2000万人以上が被災するなど、建国以来最悪の被害に見舞われたパキスタン。日本赤十字社をはじめ、各国赤十字社が救援活動や復興支援活動を展開しています。国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）会長を務める日赤の近衛忠輝社長がこのほど同国を訪問し、被災地を視察するとともに、長期的な支援を世界に呼びかけました。

同国を襲った記録的豪雨によって、7月末に北部で大洪水が発生。その後、南北に流れるインダス川がはんらんするなど、全国で大規模な被害が発生しています。被害が広い範囲に及び、道路も各地で寸断されているため、救援活動は困難をきわめました。

被災者2000万人以上、倒壊家屋190万戸という被害は、ハイチ大地震（被災者200万人）、スマトラ島沖地震・津波災害（13カ国で倒壊家屋47万戸）より、はるかに大きい規模です。

日赤から救援物資と医療チーム派遣

パキスタン赤新月社は発災直後から多数のボランティアを動員して、被災者救援に全力をあげています。

一方、IFRCは国際社会に対して、約63億円の支援を要請し、救援物資や医療、給水・衛生などの支援を実施しています。国連も9月中旬、国連史上最大の20億ドルの支援要請を発表しました。

日本赤十字社はまず、ビニールシート1万4500枚、毛布2万5000枚、キッチンセット2000個（輸送費含み4000万円分）を支援しました。次いで8月20日に看護師1人、同27日に

は医師・看護師・事務職員など7人を派遣。9月30日に更に医師1人、薬剤師1人が派遣され、フランス赤十字社の医療チームに加わって活動しています。

生活再建へ、求められる長期的支援

IFRCの近衛忠輝会長は9月29日～10月1日、パキスタンを訪問しました。北西部のチャルサダを視察し、サルダリー大統領とも会談しました。

被災地を視察した近衛会長は「浸水した家や畑はいまだ泥で覆われています。この厚い泥土の層を除去しない限り、家の再建や農業



の再開はできません。避難生活での健康被害も心配です。いま被災者に必要なのは水・食糧・医療の提供とといった単純なものだけでなく、長期的な支援です」と指摘しました。

復興支援のためにIFRCは13万世帯を対象に仮設住宅や生計再建などの早期復興支援を行うことにしていますが、なお15億円の資金が不足しています。こうした現状から、同会長は国際社会に向けて、被災者が生活を再建するための支援を強く呼びかけました。



©Paula Alvarado/IFRC
近衛会長自ら救援物資を確認

中国豪雨災害

ご協力ありがとうございました

日赤への救援金 8700万円余集まる

今年5月から降り続いた記録的な豪雨は、中国各地で洪水や土石流を引き起こし、死者3185人、行方不明者1060人（8月31日現在）などの甚大な被害をもたらしました。なかでも8月8日に甘粛省舟曲県を襲った大規模な土石流の被害は著しく、死者の約半数を占めています。

中国紅十字会は被災地の支部を通じて救援活動や救援金募集に取り組んでいます。しかし、今年4月の青海省地震で救援金を集めたばかりということもあり、国内の救援金確保は難しい見通し。国際社会からの支援が役立っています。

国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）は甘粛省支援のため約4800万円の災害救援緊急基金

を中国紅十字会に拠出。また同県の土石流による被災者5000世帯を対象に、食糧や衛生セットなどの配付を行っています。

日本赤十字社は8月12日から救援金の受け付けを開始。10月22日現在、947件、8738万9330円が寄せられました。このうち1000万円は甘粛省の土石流災害の対応に充てるためIFRCに拠出し、残る救援金では2年前の大地震の被災地でもあった四川省と陝西省、および雲南省の水害被災者に対して、冬を前に布団や防寒服、食糧などの配付を予定しています。皆さまからのあたたかいご協力、ありがとうございました。



洪水被災者に救援物資を配布する中国紅十字会 ©RCSC



被災地で説明を聞く近衛会長 ©Paula Alvarado/IFRC

ミャンマーサイクロン復興支援事業

新しい学校で元気に学ぶこどもたち

写真：今岡昌子

2008年5月にミャンマーを襲ったサイクロン・ナルギスは、死者・行方不明者14万人以上、被災者240万人以上の被害をもたらしました。日本赤十字社はその復興支援として、学校再建や生活再建、保健衛生指導、防災対策などに協力しています。9月23日、再建された学校で、こどもたちへの学用品贈呈式が行われ、日赤から職員らが出席しました。また、その他の事業地の視察も併せて行われました。

式典が行われたのはエヤワディ地域ディディエ地区のトゥ・ダニ小学校。240人の児童や教師、住民による歓迎のなか、日赤代表から、学用品や救急キットが贈呈されました。ミャンマー赤十字社のタ・フラ・シュエ社長からは「防災強化型の校舎の建設で村民に安全と安心を届けることができ、日本からの支援に大変感謝しています」との言葉が述べられました。



▲学校衛生教育事業が行われているチョン・トゥッタニ村で、ハミガキは大事ね！と2～3年生のみんな

またこどもたちからは「仮校舎は暑くて大変だったけれど、新しい校舎は綺麗!」「将来は先生になってこの学校で教えたい」などの嬉しい声も聞かれました。

日赤による復興支援は2011年5月まで続きます。



▲式典で日赤職員をあたたかく迎えてくれた村民のみなさん



▲視察したタマン小学校で挨拶をする1年生



▲新校舎の前でタマン小・中・高校の校長先生と握手する天田駐在員（右）



▲タマン小学校へ登校中。顔に塗っているのはタナカと呼ばれるミャンマー式化粧。日焼け止め効果もある

▶式典で贈呈された救急セット

